

2004年

# 情報化月間 記念講演会

■日時:2004年10月1日(金) 10:00~16:00

■場所:東京全日空ホテル地下1階「プロミネンスⅢ」

■主催:財団法人 日本情報処理開発協会

10:00~  
10:05

## 主催者挨拶

情報化月間推進会議幹事会 委員長 財団法人 日本情報処理開発協会 専務理事 **羽山 正孝** 氏

10:05~  
12:00

## 特別プログラム

# 民間出身のCIO補佐官に対する期待と実際

業務、システムなどの最適化に関して、民間の進んだ知見を取り入れるために各省庁は平成15年末、CIO補佐官を配置しました。この特別プログラムではそのなかで特に、精力的に活動されているCIO補佐官の方々と、彼らとともに最適化に取り組んでいる政府内関係者の方々が一堂に会し、CIO補佐官制度の目的と現状、今後の在り方などについて考えてゆきます。

### コーディネーター

社団法人行政情報システム研究所 専務理事 **高森 国臣** 氏

### パネラー

<金融庁> CIO補佐官 **岩丸 良明** 氏 総務企画局 総務課 情報化・業務企画室 情報企画調整官 **松本 清志** 氏  
<外務省> CIO補佐官 **石堂 一成** 氏 大臣官房 情報管理室 室長 **佐藤 昭治** 氏  
<農林水産省> CIO補佐官 **久保田 智** 氏 大臣官房 情報課 課長補佐 **森 英夫** 氏  
<経済産業省> CIO補佐官 **林 泰樹** 氏 商務情報政策局 情報政策課 情報プロジェクト室 室長 **牧内 勝哉** 氏

## シンポジウム

# 電子タグ(ICタグ)の普及に向けた展望

経済産業省が実施する平成16年度実証実験の7ユーザー業界及び響プロジェクトの実施企業による講演を行います。また、電子タグを利活用する上で国際的な連携がますます重要になる中で、有識者を交えたパネルディスカッションを行います。

### プレゼンター

家電製品業界・電子・電機業界 **武井 重雄** 氏 建設機械業界・産業車両業界・農業機械業界 **御手洗 正夫** 氏  
書籍関連業界 **永井 祥一** 氏 医薬品業界 **大井 伸二** 氏  
百貨店業界・アパレル業界 **関 淳弘** 氏 物流業界 **関口 和洋** 氏  
レコード業界・DVD・CD業界 **田中 純一** 氏 株式会社日立製作所(響プロジェクト代表) **中島 洋** 氏

### パネラー

情報・システム研究機構 国立情報学研究所 情報基盤研究系 研究主幹 教授 **浅野 正一郎** 氏  
慶應義塾大学 環境情報学部 教授 **園領 二郎** 氏  
JEITA AIDC/ISO/IEC JTC1 SC31 自動認識及びデータ取得技術 標準化委員会 委員長 **柴田 彰** 氏  
日本フィリップス株式会社 半導体事業部 IDグループ 部長 **岡瀬 大二郎** 氏

### モデレーター

経済産業省 商務情報政策局 情報経済課長 **加藤 洋一** 氏

## 特別プログラム

### 民間出身のCIO補佐官に対する期待と実際

#### (社) 行政情報システム研究所 専務理事

#### 高森 國臣氏 (たかもりくにのみ)

1970年4月行政管理庁入庁。1983年10月行政管理庁行政管理局副管理官(情報システム担当)、2002年1月総務省行政管理局管理官(情報システム担当)、2004年6月総務省退職、2004年7月より現職に至る。

#### 金融庁/CIO補佐官

#### 岩丸 良明氏 (いわまる よしあき)

東京都出身。慶應義塾大学大学院工学研究科修了。三井銀行(現三井住友銀行)入行。情報システムの企画・開発担当。

三井銀総合研究所(現 SMBCコンサルティング(株))にて情報システムの企画・開発支援・監査等のコンサルティング担当。さくら総合研究所(現同)コンサルティング部長、常務取締役、常務執行役員、SMBCコンサルティング常務執行役員、日本総合研究所理事/ファイナンシャルシステム研究部長を経て、2003年12月より金融庁CIO補佐官に就任。筑波大学、慶應義塾大学、青山学院大学非常勤講師、技術士(情報工学部門)、情報処理技術者試験委員兼任。

#### 金融庁/総務企画局 総務課 情報化・業務企画室 情報企画調整官

#### 松本 清志氏 (まつもと ときよし)

1980年大蔵省入省。大蔵省北海道財務局理財部金融監督官、財務省北海道財務局理財部金融監督官、財務省関東財務局理財部検査監督官を経て、2003年7月より現職に至る。

#### 外務省/CIO補佐官

#### 石堂 一成氏 (いしどう かずしげ)

1948年生まれ。京大工学部数理工学科卒業。工学博士。技術士(情報処理部門)。三菱重工、マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て、1991年、東京コンサルティング(株)を設立、代表取締役社長。日本国内・欧米・東南アジアで、事業戦略・マーケティング戦略・提携戦略・システム戦略・業務改革・組織改革などのコンサルティングに従事。システム分野には、特別に注力し、日経新聞社と国内主要企業2000社の「システム格付け」を毎年、実施。また、外務省CIO補佐官にも就任。

著作は、「オープン時代の情報システム」など。

#### 外務省/大臣官房 情報管理室 室長

#### 佐藤 昭治氏 (さとう しょうじ)

1970年3月中央大学卒業、4月外務省入省。在外研修にて英国リーズ大学、在外勤務(南アフリカ、英国、ザンビア、豪州、バキスタン、米国)、本省勤務(アジア局、北米局、大臣官房)。2001年経済局企画官、2002年12月国際社会協力部企画官、2004年4月大臣官房情報管理室長。

#### 農林水産省/CIO補佐官

#### 久保田 智氏 (くぼた さとし)

1961年生まれ。1985年株式会社野村コンピュータシステム入社、証券情報システム部所属、1993年新社会システム研究センター/主任研究員、1999年行政情報コンサルティング部(現 事業革新コンサルティング部)、2000年上級コンサルタント(現在に至る)、2003年12月より農林水産省CIO補佐官に就任。

#### 農林水産省/大臣官房 情報課 課長補佐

#### 森 英夫氏 (もり ひでお)

1968年生まれ。1992年日本電信電話株式会社(現 西日本電信電話株式会社)入社。2003年5月農林水産省入省大臣官房情報システム課情報システム企画官を経て現職。ITコーディネータ、システムアナリスト、プロジェクトマネージャー、上級システムアドミニストレータ。

#### 経済産業省/CIO補佐官

#### 林 泰樹氏 (はやし やすき)

1952年生まれ。京都大学工学部電気工学第II学科卒業。1975年日本電信電話公社入社、DIPSの実用化、データアーキテクチャやエンタープライズデータベースの企画、導入推進、Y2K対策リーダー。2000年NTTコムウェアへ転籍、2002年データベースセンタ長。2003年5月に経済産業省CIO補佐官を担当。2004年8月に経済産業省入省、大臣官房企画官(電子政府・情報化担当)として引続きCIO補佐官に就任。

#### 経済産業省/商務情報政策局 情報政策課 情報プロジェクト室 室長

#### 牧内 勝哉氏 (まきうち かつや)

1959年生まれ。北海道大学大学院電子工学専攻修了。1984年通商産業省入省以来、主に技術政策及び情報政策を担当。1996年米国イリノイ大学アーバナシャンペーン校客員研究員、1998年通商産業省新映像産業室長。1999年から2002年までドイツ駐在。2002年から現職にて、電子政府担当。2003年の電子政府構築計画策定にあたっては、WGの一員としてCIO補佐官制度構築に関与。

## シンポジウム

### 電子タグ(ICタグ)の普及に向けた展望

#### 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 情報基盤研究系 研究主幹 教授

#### 浅野 正一郎氏 (あさの しょういちろう)

1947年生まれ。東京大学大学院博士課程修了(電子工学専攻)工学博士。東大大型計算機センター、同宇宙航空研究所、同工学部を経て、1986年から学術情報センター教授。2000年4月より現職。超高速ネットワークの開発に従事。

#### 慶應義塾大学 環境情報学部 教授

#### 國領 二郎氏 (こくりょうじろう)

1959年生まれ。1982年東京大学経済学部経営学専攻卒業。1982年日本電信電話公社入社。計画局、新規事業開発室などに在籍。1986年ハーバード・ビジネススクールに留学し、経営全般を学ぶ。1988年経営学修士号を取得。1992年ハーバード大学経営学博士、日本電信電話株式会社企業通信システム本部勤務。1993年慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 助教授。2000年同教授。2003年慶應義塾大学 環境情報学部 教授、現在に至る。

#### JEITA AIDC/ISO/IEC JTC1 SC31 自動認識及びデータ取得技術 標準化委員会 委員長

#### 柴田 彰氏 (しばた あきら)

1971年日本電装株式会社(現 株式会社デンソー)に入社。1992年(社)日本電子工業振興協会 バルコード技術標準化専門委員会 委員長。1995年AIMジャパン 技術委員会 委員長。1996年(社)情報処理学会/情報規格調査会 SC31国内委員会 委員長。1997年(社)日本電子工業振興協会ADC委員会 委員長、並びにAIMインターナショナル 理事。1999年(社)日本自動認識システム協会 技術委員会 委員長。2001年(社)電子情報技術産業協会 自動認識及びデータ取得技術標準化委員会 委員長、また、株式会社デンソーウェブに出向し、自動認識事業部 主幹に就任。2003年より(社)日本自動認識システム協会 研究開発センター長、現在に至る。

#### 日本フィリップス株式会社 半導体事業部 IDグループ 部長

#### 間瀬 大二郎氏 (ませ だいじろう)

1943年生まれ。1967年東京工業大学理工学部機械工学科卒業、三井造船株式会社入社。1985年オムロン株式会社へ転籍、電子決済機器等の企画、RFID事業開発を担当。2004年1月日本フィリップス株式会社へ転籍、ID事業とAP地域RFIDマーケティングの担当を兼任、現在に至る。

#### 経済産業省 商務情報政策局 情報経済課長

#### 加藤 洋一氏 (かとう よういち)

1959年生まれ。1983年東京大学卒業、同年通商産業省(現 経済産業省)入省。1996年通信機器産業室長。1998年JETROブリュッセルセンター所長。2001年内閣官房内閣参事官(IT担当室)。2003年経済産業省大臣官房参事官(商務情報政策局担当)。2004年6月より情報経済課長、現在に至る。

## 情報化月間シンポジウム（ICタグ関係）の概要

日 時：平成16年10月 1日（金） 14：00～16：00

場 所：全日空ホテル（赤坂）（プロミネンス（Ⅲ））

タイトル： 電子タグ（ICタグ）の普及に向けた展望

概 要：

経済産業省が実施する平成16年度実証実験の7ユーザー業界及び響プロジェクトの実施企業による講演を行う。また、電子タグを利活用する上で国際的な連携がますます重要になる中で、有識者を交えたパネルディスカッションを行う。

構 成：

- ① 実証実験7業界+響プロジェクト企業によるプレゼン（70～80分）
- ② 有識者を交えたパネルディスカッション（40～50分）

講演者：

- |                  |        |
|------------------|--------|
| ① 家電・電子部品業界      | 武井重男 氏 |
| ② 建機・農機・産業車両業界   | 御手洗正夫氏 |
| ③ 書籍業界           | 永井祥一 氏 |
| ④ 医薬品業界          | 大井伸二 氏 |
| ⑤ 百貨店・アパレル業界     | 関淳弘 氏  |
| ⑥ 国際物流業界         | 関口和洋 氏 |
| ⑦ レコード・CD・DVD業界  | 田中純一 氏 |
| ⑧ 響プロジェクト（日立製作所） | 中島洋 氏  |

有識者：

- ① 国立情報学研究所 浅野正一郎 教授
- ② 慶応大学 国領二郎 教授
- ③ JEITA AIDC/ISO/IEC JTC1 SC31  
自動認識及びデータ取得技術標準化委員会 委員長 柴田彰 氏
- ④ 日本フィリップス 間瀬大二郎 氏

モデレータ：加藤 情報経済課長

以上

## 10月1日 情報化月間パネルディスカッションの進め方について(案)

平成16年9月27日  
経済産業省情報経済課

### 0. 導入～電子タグと情報革命～

- ・ モデレータ(加藤)による導入(5分程度)

### 1. 電子タグの意義と期待

(マクロ的視点)

- ・ 期待が大きく先行している中、電子タグの市場拡大(31兆円などの調査結果もあるが)をどう評価するか → 国領先生(5分程度)

(ミクロ的視点)

- ・ 特に期待されているサプライチェーンマネジメント改善への電子タグの寄与とバーコードとの関係をどう評価するか → 柴田さん(5分程度)
- ・ 電子タグの利活用が既存産業に与えるインパクトについて → 出版:永井さん、百貨店協会:関さん(時間があれば)

### 2. 電子タグと産業競争力

- ・ 電子タグ・ベンダーの競争力について
  - － 多様なタグの並存と今後の展開見込み
  - － その中で、ベンダー企業としてどのようなポジションを取り、海外とのアライアンス戦略をどうするか
- フィリップス:間瀬さん、日立:中島さん(各5分程度)

### 3. セキュリティ問題への対応の重要性

- ・ IPv6 とのシナジーの考え方
- ・ IC カードとのシナジーの考え方
- 浅野先生(5分程度)
- ・ 社会的ルールのあり方
- 国領先生(5分程度)

### 4. 最後に ～官民の役割～

- ・ 研究開発の在り方
- ・ 電波政策など制度面整備の在り方
- ・ 電子タグの普及に向けた技術と標準化、流通業界の役割等
- 浅野先生(5分程度)